

HistoryDBConfigure

使用説明書

2010 年 3 月 19 日

株式会社 Coolware

改訂履歴

2009/03/12	初版
2010/02/24	バイリンガル化

目次

1. はじめに	1
2. 動作環境	1
3. インストール	1
4. 操作方法	2
4.1.起動と終了	2
4.2.画面	3
4.2.1.初期画面	3
4.2.2.メイン画面	4
4.2.3.テーブル追加画面	4
4.2.4.テーブルのフィールド追加画面	5
4.2.5.テーブル削除画面	5
4.2.6.データ追加画面	5
4.3.メニュー	6
4.3.1.メイン画面のメニュー	6
4.3.2.ショートカットキー	6
4.3.3.ツールバーメニュー	7
4.4.データベース操作	8
4.4.1.データベースの新規作成	8
4.4.2.データベースを開く	8
4.4.3.テーブルの作成	9
4.4.4.テーブルの選択	11
4.4.5.テーブルの削除	11
4.4.6.データの追加	12
4.4.7.データの編集	13
4.4.8.データの削除	13
4.4.9.データの取込	14
4.4.10.データの書出	14
4.4.11.テーブル定義の取込	14
4.4.12.テーブル定義の書出	15

1. はじめに

本書は、データの追加、編集などデータベースの管理を行うシステムの説明書です。

2. 動作環境

OS Windows XP, Windows Vista
 ※実行するには Adobe AIR ランタイムが必要です

画面解像度 1024×768 以上

3. インストール

Adobe のサイト(<http://www.adobe.com/jp/>)から、ランタイムをインストールします。

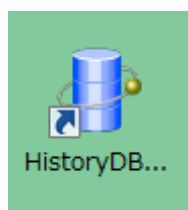
次に HistoryDBConfigure.air をダブルクリックしてインストールします。完了すると、デスクトップにショートカットが作成されます。

4. 操作方法

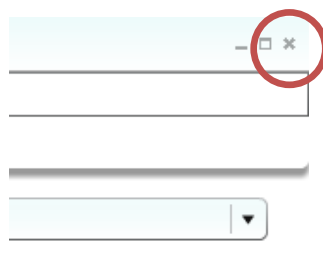
4.1. 起動と終了

ここでは、システムの起動と終了の操作説明を記述しています。ソフトウェアがインストールされている状態が前提となっていますので、準備が整っていない場合は、まずこれらの準備をしてください。

HistoryDBConfigure アイコンをダブルクリックして起動します。

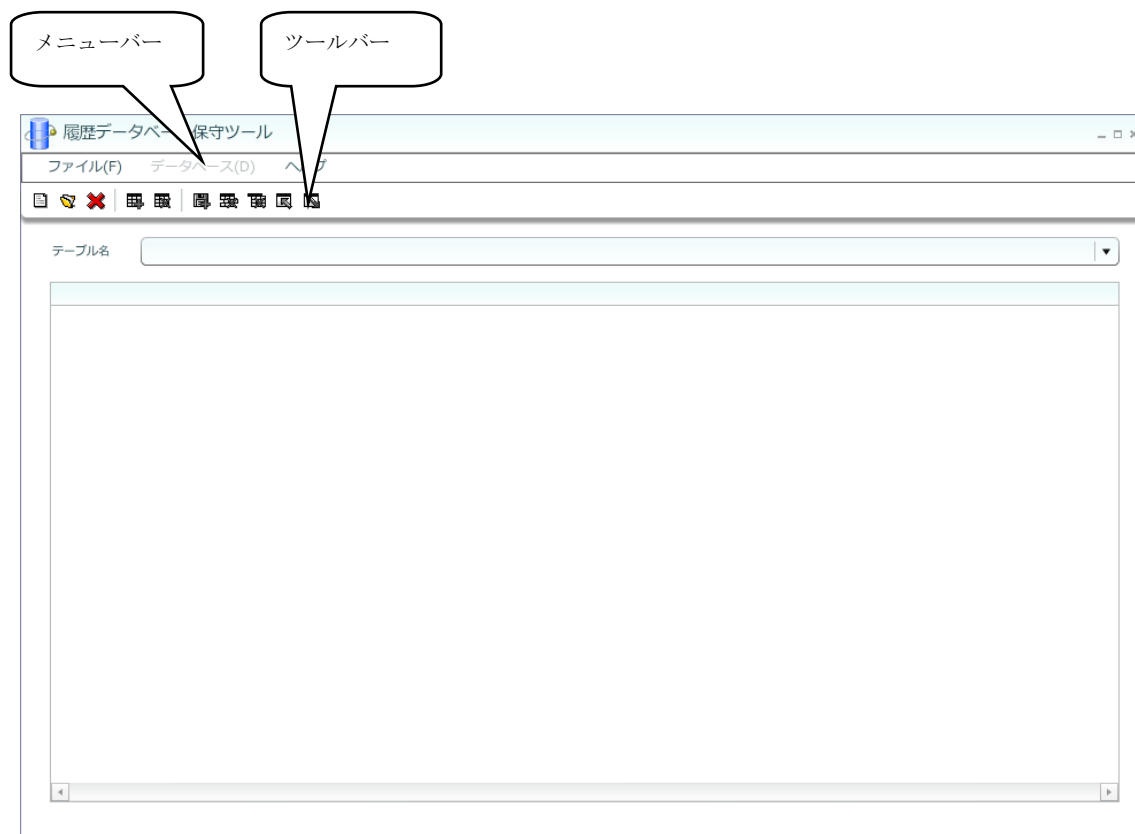


終了する場合は、ウィンドウ右上の×部分をクリックするか、ファイルメニューの終了を押します。



4.2.画面

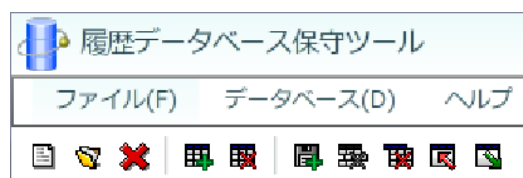
4.2.1.初期画面



※起動時は、新規ファイルを作成するか、ファイルを開くを実行しないと、初期画面のように、「テーブル追加」「テーブル削除」「データ追加」などのデータベース機能が使用できません。

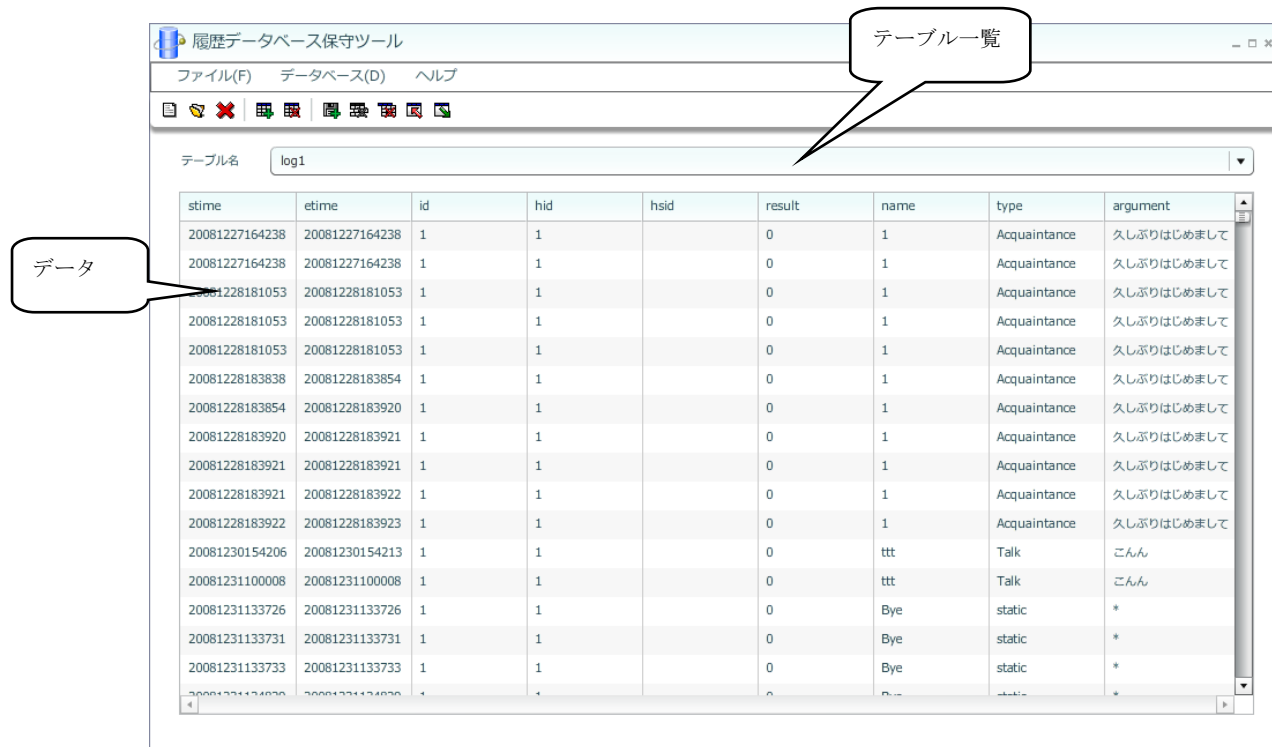


●使用不可の状態

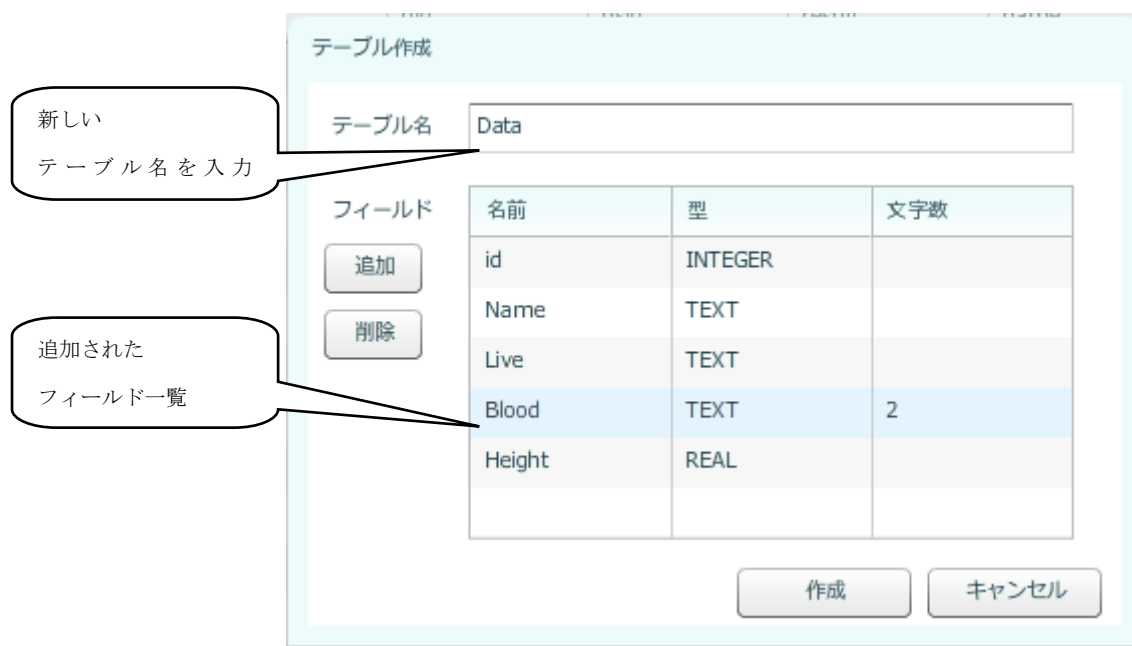


●使用可の状態

4.2.2.メイン画面



4.2.3.テーブル追加画面



4.2.4. テーブルのフィールド追加画面

項目の追加

フィールドの名前の入力

名前 テスト

型 TEXT

☒ 文字数制限 3

データの字数制限の設定

追加 キャンセル

4.2.5. テーブル削除画面

テーブル削除

テーブル名一覧

log1

削除 キャンセル

4.2.6. データ追加画面

データ追加

各フィールド名

カーソルを合わせると、データの型が表示されます

追加データ

id	2
Name	MAI
Live	Kyoto
Blood	O
Height	158.3

追加 キャンセル

4.3. メニュー

4.3.1. メイン画面のメニュー

			説明
ファイル	新規		ファイルを新規作成する
	開く		ファイルを開く
	言語設定		HistoryDBConfigure の言語を切り替える
	終了		システムを終了する
データ ベース	テーブル	追加	テーブルを追加する
		削除	テーブルを削除する
	データ	追加	データを追加する
		選択行削除	データを選択した行だけ削除する
		全削除	データを全削除する
		CSV 取込	CSV 形式のデータを取り込む
		CSV 書出	データを CSV 形式で書き出す
	テーブル 定義	取込	テーブル定義を取り込む
		書出	テーブル定義を書き出す
ヘルプ	バージョン情報		バージョン情報を表示する

※ファイルを開いていない状態の時はデータベースの機能は使用できません。

※テーブルがない状態の時はデータ編集の機能は使用できません。

4.3.2. ショートカットキー

	説明
Alt + F	ファイルのメニューを開く
Alt + D	データベースのメニューを開く
Ctrl + N	ファイルの新規作成をする
Ctrl + O	ファイルを開く
Alt + X	システムを終了する

4.3.3. ツールバーメニュー

	説明
	ファイルを新規作成する
	ファイルを開く
	システムを終了する
	テーブルを追加する
	テーブルを削除する
	データを追加する
	データを選択削除する
	データを全削除する
	CSV 形式のデータを取り込む
	データを CSV 形式で書き出す

※ファイルを開いていない状態の時はデータベースの機能は使用できません。

※テーブルがない状態の時はデータ編集の機能は使用できません。

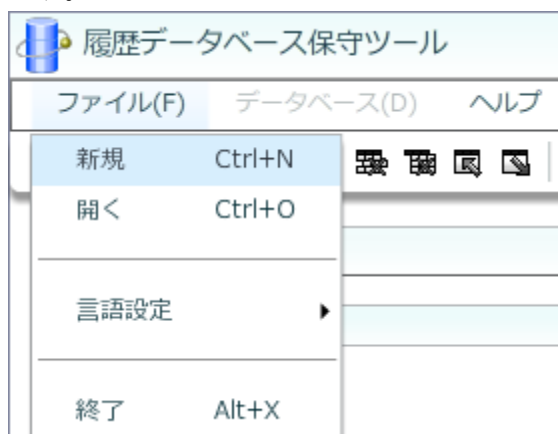
4.4. データベース操作

ここではデータベースの操作手順を説明します。

4.4.1. データベースの新規作成

データベースファイルを新規で作成します。

ファイルメニューから新規を選択し、データベースのファイル名と保存する場所を入力します。



4.4.2. データベースを開く

データベースファイルを開きます。

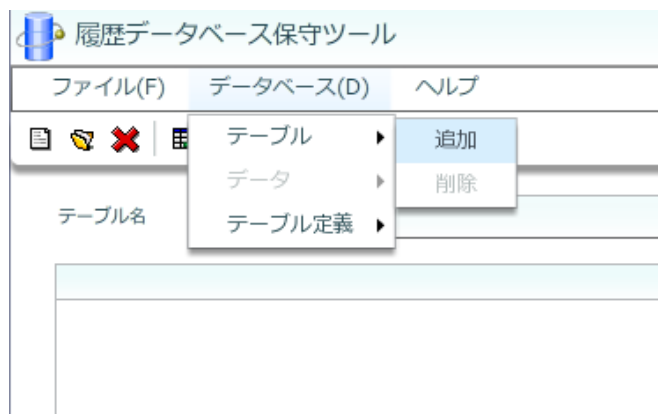
ファイルメニューから開く を選択し、データベースファイルを選択します。選択すると、テーブルがある場合はテーブル名が表示され、表にそのデータが表示されます。



4.4.3. テーブルの作成

データベースにテーブルを作成します。

ファイルを開いている状態で、データベースメニューのテーブルから追加を選択します。



テーブル作成画面が表示されます。

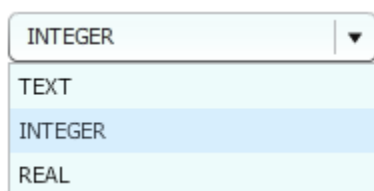


テーブル名を記入します。テーブル名には半角記号("_"を除きます)以外の文字を使用して下さい。頭文字のみ、半角数字が使用できません。また、"table"という名前のテーブルは作成できません。

次にフィールドを作成します。追加ボタンを押すと、フィールド作成画面が表示されます。



次に、フィールドのデータ型を選択します。型には TEXT、INTEGER、REAL を選択できます。



TEXT 型には文字数制限を付けることができます。制限をつけるには、文字数制限にチェックを入れ、右に最大文字数を入力してください。文字数制限の最大値は 1024 です。



追加ボタンを押すと、テーブル作成画面のフィールド表に追加されます。

フィールドを削除するには、削除するものを表から選択して、削除ボタンを押します。

作成ボタンを選択すると、テーブルが作成されます。

4.4.4. テーブルの選択

データを表示させるテーブルを選択します。

ファイルを開いた状態で、テーブル名一覧から開くテーブル名を選択します。テーブル名を選択すると、下の表にデータが表示されます。

テーブル名	human
id	human
	log

4.4.5. テーブルの削除

テーブルをファイルから削除します。

ファイルを開いた状態で、データベースメニューのテーブルから削除を選択します。

テーブル削除画面から削除するテーブルを選択し、削除ボタンを押します。

テーブル削除

human ▼

削除

キャンセル

4.4.6. データの追加

テーブルにデータを追加します。

ファイルを開いた状態で、データの追加を行うテーブルを選択します。

ファイルメニューのデータから追加を選択すると、データ追加画面が表示されます。

データ追加

id

name

place

追加 キャンセル

フィールド名の右側のボックスにデータを記入します。フィールド名にカーソルを合わせると、フィールドのデータ型が表示されます。

データ追加

id

name (INTEGER)

追加ボタンを押すと、データが追加されます。

4.4.7.データの編集

テーブルデータを編集します。

ファイルを開いた状態で、データの編集を行うテーブルを選択します。

編集するデータを表からクリックすると、編集可能状態になります。

Name	Live	Blood
name1	Kyoto	AB

4.4.8.データの削除

テーブルからデータを削除します。

ファイルを開いた状態で、データの削除を行うテーブルを選択します。

表から選択したデータの削除と、テーブル内の全データ削除を行うことができます。

選択して削除するには、表からデータを選択してデータベースメニューのデータから選択行削除を選択します。

stime	etime
20081227164238	20081227164238
20081227164238	20081227164238
20081228181053	20081228181053
20081228181053	20081228181053
20081228181053	20081228181053
20081228183838	20081228183854
20081228183854	20081228183854

選択されている
データ

全て削除するには、データベースメニューのデータから全削除を選択します。

4.4.9.データの取込

テーブルのデータを外部ファイルから取り込みます。

ファイルが開いた状態で、データを追加するテーブルを選択します。

データベースメニューのデータから CSV 取込を選択し、取り込むファイルを選択して下さい。取り込むファイルは、1 行に 1 つのデータをカンマ区切りで並べたデータとします。

20081227164238,20081227164238,1,1,,0,1,Acquaintance,久しぶりはじめまして
20081227164238,20081227164238,1,1,,0,1,Acquaintance,久しぶりはじめまして
20081228181053,20081228181053,1,1,,0,1,Acquaintance,久しぶりはじめまして

(例) データファイル

表示されているテーブルの末尾に、データが追加されます。

4.4.10.データの書出

テーブルのデータをファイルに書き出します。

ファイルが開いた状態で、データを出力するテーブルを選択します。

データベースメニューのデータから CSV 書出を選択し、ファイル名を入力して下さい。1 行に 1 つのデータをカンマ区切りで並べたデータが出力されます。

4.4.11.テーブル定義の取込

テーブルの定義を取り込みます。

ファイルが開いた状態で、データベースメニューのテーブル定義から取込を選択します。

ファイルを選択すると、データベースに取り込んだテーブルが追加されます。

4.4.12. テーブル定義の書出

テーブルの定義をファイルに書き出します。

ファイルが開いた状態で、データベースメニューのテーブル定義から書出を選択します。



出力するテーブルを一覧から選択し、出力ボタンを押します。ファイル名を入力すると、ファイルが出力されます。

```
log1 ( stime VARCHAR(14), etime VARCHAR(14), id INTEGER, hid INTEGER,
hsid TEXT, result INTEGER, name TEXT, type TEXT, argument TEXT )
```

(例) 出力ファイル